



第44号

大阪市史跡 龍溪禪師墓所 宝亀山九島院

発行所

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号
TEL 06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

発行者

第二十五世住職 奥田啓知(智證)

岡田阪神タイガース・大阪近鉄バッファローズ日本シリーズ(西大阪線対決) 祈願!

すべての座席が優先席

—シルバーシートは必要か—

横浜市交通局では、「優先席を拡大してほしい」「お年寄りや車内放送でもっとPRしてほしい」などの優先席に関する寄せられるお客様の意見や要望を受け、検討した結果、平成十五年十二月一日より横浜市営地下鉄の「すべての座席を優先席」にすることとなりました。

関西では、既報(二十九号)のように阪急電車が平成十一年四月一日より「優先座席」(シルバーシート)を廃止し、「全席を優先座席と考える」という新しい方式に切り替えました。横浜市市長は改革派の騎手として名高い中田宏氏ですが、公的機関としては全国に先駆けてシルバーシートを廃止し、仏教本来の牀座施(しょうざせ)を施策にいかした首長といえます。座席を譲ることを牀座施(しょうざせ)と云って、仏教では無罪の七施(財がなくてもできる布施)の一つに数えられています。布施とは、他人に金銭や品物を施すことです。しかし、

俺がお前に恵んでやっているんだぞ、という気持ちがあるから、受けてもまた施しを受けてはならない。それに施物も清浄でなければならず、自分に不要になった物を施しても布施にはなりません。

満員電車でも、お年寄りや身障者に座席を譲るのは、誰にでもできる布施行ですが、一年寄りがかわいそうだから、座らせてやる」という気持ちがあるから、お年寄りに座っていただくのは、お年寄りに座っていただくのがいい。座っていただくのです。したがって、「座っていただく」席を譲った者が心のなかで、そんな言葉を発する気持ちでなされたとき、それが真の布施行になるのです。

「優先座席」(シルバーシート)は、昭和五十年頃から私鉄各社に全国的に導入されました。各社ともだいたい一車両あたり六座席程度、車両の連結部あたり

りに設置されています。人口の高齢化をうけ、年寄り社会の到来をまえに、布施行の浸透しない世の中にあつて、そんな少数の座席では対応できず、今後、横浜市に習う公共交通機関も増えてくるよに思います。

小柄、昨年末に靖国神社参詣と、目黒五百羅漢寺拝塔に上京したおり、山手線の車中、優先座席は誰も座らず、空きのままでした。東京人は、こうしたマナーに厳格なのか、それとも単にエエカッコイイなのか。本心にくたくたに疲れている時には座らせてもらってもいいよな気がしました。

全席優先
席を譲って
いただけますか?

内部乗降の方や、妊娠初期の女性など、ご乗入はすぐ早いのに、男足では分からないこともあります。

「ゆずっていただけますか?」「いいですよ、どうぞ」
こんなやりとりも気軽にできる、そんな車内がほしいですね。



